

# 【フィボナッチものさし…作成してみました 文理科】

宮崎第一高等学校

皆さんは、不便益 (benefit of inconvenience) という言葉を知っていますか？  
この言葉は、京都先端科学大学の川上浩司先生が提唱されている言葉です (以下インターネットからの抜粋)。

人はこれまで科学技術を発展させ、目的を果たすのに余計な手間がかからない便利な社会を築き上げてきました。いまやスマートフォンやパソコンを使えば、いつでもどこでも簡単に調べものができてしまいます。その結果、わざわざ図書館まで調べものに出かけなくてもよくなりました。一方で、図書館に調べものに出かけたりすることで、違った価値が芽生えることがあります。それは少し見方を変えると、便利な暮らしが、これまでの工程をブラックボックス化させたとも言えます。そのブラックボックス化されてしまった行為が元々は与えてくれていたはずの効用、に目を付けたのが不便益です。

そして、その不便益を形にした商品こそが、「素数にしか目盛のないものさし」です。この「ものさし」は京都大学のオリジナルグッズとして大ヒット！今回、その素数ものさしをオマージュしたもの、リスペクトして作ったもの (皆さんはパクったというかもしれませんが) がこの「フィボナッチものさし」です。不便益は本家にも勝ります。なぜなら飢肥杉で作っているからです。飢肥杉はあまり定規には活きません。なぜなら何度も線を引くと劣化していくからです。でも良いにおいがします。そして何より宮崎の名産品です。今回は、飢肥城大手門の傍、小村寿太郎記念館の隣にあります飢肥の「オビダラー」様をお願いして作ってもらいました。おしゃれなものがたくさん置いてありますので、ぜひ行ってみてください。

ちなみに、フィボナッチ数列とは…一言で表すのは難しいので、ぜひ図書館に出かけたときに調べてみてくださいね (笑)

それでは、不便益×フィボナッチ数列×飢肥杉をお楽しみください!!

